

VIII 各種センター・施設

1 教育支援総合センター

2 図書館

3 保健センター・学生相談室・
特別サポートルーム

4 地域連携センター

5 教職センター

6 スポーツ支援室

7 カレッジホールPAL

8 臨床心理学研究科
臨床心理センター

9 北方圏学術情報センター／
北翔大学札幌円山キャンパス

10 北方圏生涯スポーツ研究所／
スポーツ科学センター

1. 教育支援総合センター

場所

1号棟1階 事務局内

受付時間

- ・月～金曜日 8:30～17:00
- ただし、次の期日は閉鎖します。
- ・土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日（9月5日）
- ・夏季・冬季休業中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

業務内容

教育支援総合センターは学生のみなさんを学習面や生活面で総合的に支援するための組織で、「学習支援オフィス」、「学生生活支援オフィス」及び「FD支援オフィス」の3つのオフィスを持ち、加えて保健センター、学生相談室、地域連携センター、教職センター及びキャリア支援センター等他の組織と連携して学生サービスを行います。

また、“何でも相談”及び“交流スペースhug（ハグ）”を運営し、学習面、生活面の両面からみなさんの悩みに対応します。

<学習支援オフィス>

履修・単位に関すること、授業に関すること、学籍や修了に関すること及びこれらに関する証明書の発行等を行う窓口です。詳しくは学生生活編をご覧ください。

<学生生活支援オフィス>

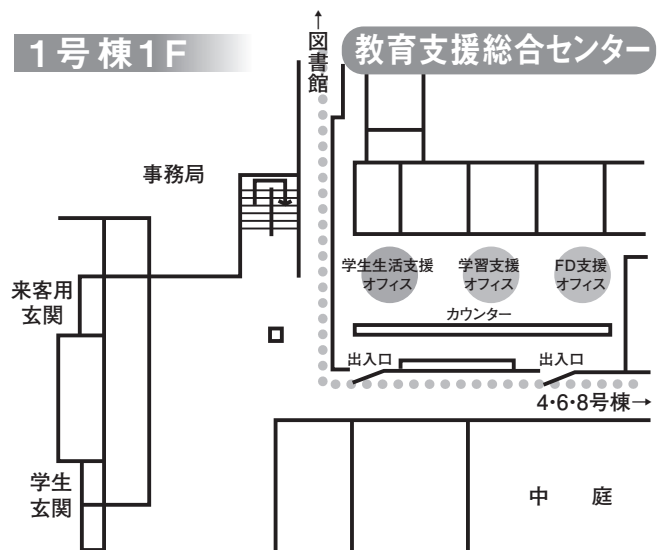
奨学金に関すること、課外活動に関すること、国際交流に関すること、忘れ物・落とし物に関すること、学生証や通学証明書に関することなど学生生活全般に関して対応する窓口です。詳しくは学生生活編をご覧ください。

<FD支援オフィス>

授業評価の実施や授業開発、教職員向けの研修機会の提供等、学生のみなさんにより良い教育機会を提供できるよう間接的にサポートします。

また、学生視点で授業や教育に関わる“学生FD”に注力しており、学生で構成する学生FDスタッフの支援を行っています。

その他、パソコン教室、WiFi（eduroam）などコンピュータに関する問い合わせ対応も行っています。



<何でも相談>

学生生活の全ての疑問や悩みを受け付け、必要に応じて専門の部署を紹介します。「聞きたいことがあるけどどこで聞いたらよいかわからない」「悩みがあるけど誰に相談したらよいかわからない」そんなときは学生生活支援オフィスの“何でも相談”を活用してください。

2. 図書館

1) 開館時間・休館日

開館時間

		授業期間	休業期間
月～金曜日	開館	8:45～19:00	8:45～16:30
	視聴覚資料利用受付	8:45～18:30	8:45～16:00
土曜日	開館	8:45～15:00	休館
	視聴覚資料利用受付	8:45～14:30	

休館日

- ・日曜日・国民の祝日・創立記念日（9月5日）及び本学の行事日
- ・春季・夏季・冬季休業期間内の土曜日及び一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

2) 入館にあたっての注意

- ・受付カウンターは1階にあります。
- ・入館時に学生証が必要です。
- ・館内での飲食は禁止ですが、キャップつきのボトル飲料（ペットボトル、水筒など）に限り飲むことができます。
- ・閲覧室内で携帯電話の通話はできません。入館時に電源を切るかマナーモードにしてください。着信先が急を要する場合は、1階中央階段前のホールで通話してください。

3) フロアガイド

1階から3階までの館内で、自由に資料を利用できます。1階には、芸術・スポーツ分野の一般図書のほか、新着図書、雑誌、新聞及び視聴覚資料があります。また、教員指定の「テキスト・参考資料・指定図書」を講義科目別にまとめた「科目関連図書コーナー」や、就職活動や資格取得に役立つ資料を集めたコーナーがあります。

2階には、医学・福祉をはじめ広い分野の一般図書、洋書、貴重本、大型本が、3階には、教育・社会学、衣食住、文学の一般図書のほか絵本、児童書、紙芝居があります。

グループで資料を利用しながらディスカッションをするときは1階の「ラーニング・コモンズ」または「グループ学習ゾーン」を利用してください。2・3階は「個人学習ゾーン」です。会話は控えてください。

図書館資料を検索するパソコンが各階にあります。また、1階には学内ネットワークに接続された

パソコン、館内貸出用のモバイルPC、プリンタを備えています。印刷用紙は各自で準備してください。1階「ラーニング・commons」の視聴覚ブースでは、所蔵するCD・DVDなどが利用できます。2階の「生涯学習サポート教室“まなぼっと”」には電子黒板、大型液晶ディスプレイ、プロジェクターを備えています。利用の際はカウンターで申し込んでください。

4) 資料の貸出について

借りたい資料と学生証を持参して1階カウンターで手続きをしてください。

貸出期間・冊数

種 類	期 間	冊 数
●一般図書	30日間	制限なし
●参考図書（緑ラベル）	7日間	
●指定図書（青ラベル）	7日間	
●禁帯出本（赤ラベル）	オーバーナイト*	
●雑誌（バックナンバー・紀要）	7日間	
●雑誌最新号	オーバーナイト*	
●CD	7日間	
●DVD	館内閲覧	
●CD-ROM	館内閲覧	

*オーバーナイト貸出

貸出業務終了1時間前から翌開館日の開館30分後までの貸出です。

なお、図書や雑誌など資料を紛失・破損した場合は弁償していただきます。

5) 複写

図書館の資料の複写には、図書館にあるコピー機を使用できます。料金はモノクロコピーが1枚10円、カラーコピーが1枚50円（A3判は80円）です。1冊の図書を全部、及び1人で同じものを2部以上複写することは禁じられています（著作権法第31条による）。ノート類や持込資料の複写はできません。

6) 学外から利用できる図書館サービス

【マイライブラリ】

マイライブラリとは、「借用中の資料」や「借りた資料の履歴」などが確認できる個人のページです。学生ポータルサイトと同じID/PWでログインしてください。

【学外から使える電子ブック・データベース】

図書館ホームページ内のマイライブラリにログインして利用できます。

【貸出延長手続き】【貸出中の資料へ予約申込】

図書館ホームページ内のマイライブラリにログインして手続きができます。

【購入希望図書申込】

図書館に所蔵してほしい図書をリクエストすることができます。

【文献複写申込】

本学図書館で所蔵していない雑誌・研究紀要の文献複写依頼の申込ができます。

【図書館なんでも相談室】

図書館所蔵資料の検索方法やレポート・課題の文献の集め方、契約データベースの利用方法などわからないことを気軽に質問してください。

詳しくは図書館ホームページから⇒ <https://lib.hokusho-u.ac.jp/drupal/>



3. 保健センター・学生相談室・特別サポートルーム

1) 保健センター

保健センターは、健康で充実した学生生活を送ることができるよう、疾病予防や健康の保持・増進を援助することを目的として設置されています。

自分の健康に不安を感じるがあれば、どんなことでも気軽に保健センターを利用してください。

業務内容

- ・ 定期健康診断
- ・ 保健管理の企画・実施
- ・ 有所見者の保健指導
- ・ 保健講話の実施
- ・ 健康相談
- ・ 学内の衛生管理
- ・ 応急処置および医療機関の案内
- ・ 健康診断証明書の発行(定期健康診断を受けたものに限る)

利用時間

- ・ 月～金曜日 8:30～17:00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・ 土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日(9月5日)
- ・ 夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・ その他臨時に必要な場合

利用方法

- ・ 利用時間内にいつでも予約なしで利用できます。
- ・ 電話・E-mailでも相談を受け付けます。
電話：(011) 387-3984 (保健センター直通)
E-mail：center@hokusho-u.ac.jp
- ・ 場所はPAL 3階です。

健康保険証の携帯について

在学中は健康管理上、不測の事態が生じることも考慮し、健康保険証を携帯してください。

2) 学生相談室

学生相談室では、心理的な悩みや、健康・学業・進路の悩みなど、大学生活に関することをカウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が相談に応じています。相談内容は自分自身のことに限らず、家族や友人など周りの人に関することでも構いません。相談の秘密は守られます。一人で悩まずに気軽に相談室を利用してください。

相談内容

- ・対人関係の悩み
- ・自分自身の性格のこと、心理・精神面の悩み
- ・いじめや嫌がらせを受けている
- ・心身の不調（不眠・不安・憂鬱）
- ・学業の悩み
- ・進路（休学・退学・就職等）のこと
- ・経済的な悩み
- ・課外活動などの悩み など

相談時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00（予約をお勧めします）

相談方法

- ・休業期間中など、開室時間を変更する場合があります。詳しくはホームページの「学生相談室カレンダー」で確認してください。
- ・相談を希望する方は、保健センターまたは学生相談室へお越しください。
- ・下記の電話、E-mailでも申し込みできます。
電 話：(011) 387-9154（学生相談室直通）
E-mail：gakuso@hokusho-u.ac.jp
- ・場所はPAL 3階です。

3) 特別サポートルーム

特別サポートルームは、主に障がいのある学生が学習するうえで必要な支援のニーズに応じています。支援資源の提供のほか、各学科の教員や各部署の職員と協働し、学生の皆様に充実した学びの環境を提供できるよう配慮致します。学びの環境に不安を感じる事があれば、いつでもお気軽に特別サポートルームをご利用ください。

利用時間

- ・月～金曜日 9：00～17：00
電 話：(011) 387-3392
E-mail：tokusapo@hokusho-u.ac.jp

・場所は7号棟2階です。

4. 地域連携センター

ボランティア活動への参加支援、資格取得や検定合格を後押しする対策講座の受け付けを行なっています。「市民向け講座」を開講するなど、地域に開かれた「窓」としての役割も担います。

1) ボランティア

参加登録や活動紹介など手続き全般を支援しています。大学にはさまざまな依頼が寄せられます。高齢者施設や障害者支援施設など社会福祉施設での活動。小・中学校での学習支援や幼稚・保育園での活動もあります。地域イベントへの参加は、住民と触れ合う貴重な機会になっています。

本学を含む江別市内4大学の学生が合同で行うものもあります。近隣自治体などが「学生地域定着推進広域連携事業（ジモ×ガク）」として展開する地域体験活動と学生自らイベントを企画する「EBETSUto（エベツト）」です。資料をそろえています。

ボランティア活動は、実社会で多くのことを学べる貴重な機会です。気軽に相談してください。

2) 資格・検定対策講座

資格取得や検定合格は就活の「武器」になります。目標に向かって、対策講座を積極的に活用してください。講座案内は大学HP（「総合案内」→「在学生の方へ」）の「オリエンテーション資料」に掲載しています。ポータルサイトでもお知らせします。

◆主な対策講座

（建築・デザイン）：2級建築士、インテリアコーディネーター、宅建（宅地建物取引士）、カラーコーディネーター検定

（教育）：保育士

（事務）：秘書検定（2・3級）、MOS（マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト）Word、Excel、PowerPoint

（医療・福祉）：医療事務、調剤薬局事務、介護職員初任者研修

このほか、団体申込で割引価格となる講座を紹介しています。

3) 市民向け講座、その他

地域住民を対象に多彩な内容の講座を開講しています。本学学生の参加も可能です。大学ホームページで紹介しています。

大学を訪問する中学・高校生に人気の施設見学のガイド役をお願いしています。Teamsやポータルサイトで募集します。チェックしてみてください。母校の来学があるかもしれません。

認知症予防や介護予防などを目指し、大学が社会貢献事業として取り組む「地域まるごと元気アッププログラム（まる元）」（コープさっぽろ、NPO法人との連携事業）もサポートしています。

場 所：1号棟1階

受付・利用時間：月～金曜日 8：30～17：00

電 話：(011) 387-3939（直通） Teams：地域連携センター〔学生〕

5. 教職センター

教職センターは、本学の教職課程の充実と、教職課程履修者への支援を目的とし、主に次のような取り組みを行っています。

- ・教員を目指す学生に対して教員採用検査対策講座や各教育委員会による学内説明会を開催し、より多くの学生が希望を叶えられるように支援をしています。
- ・教育実習、養護実習、特別支援教育実習にあたっては、事前のオリエンテーションや個別指導を行うとともに、実習受け入れ機関との連携を図り、学生が充実した実習を行えるようサポートします。
- ・各教育委員会と連携して、学校現場における学生の体験活動等を行えるよう支援しています。
- ・教職課程資料閲覧室には、実際の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において使用される教科書や、学習指導要領等の教職課程関連図書、教員採用検査関連の資料を多数揃え、学生が学習しやすい環境を整えています。
- ・教職課程学習室は、教員を目指している方が自習することができるスペースです。自習はもちろん模擬授業や教員採用検査の試験勉強など、有効に活用してください。

場 所

- ・ 7号棟 1階 教職センター・教職課程資料閲覧室
- ・ 7号棟 2階 教職課程学習室

受付・利用時間

- ・ 月曜～金曜日 8：30～17：00
- ・ 教職課程学習室は上記時間外も利用可能です。

6. スポーツ支援室

本学には以下のような体育・スポーツ施設や分析室があります。施設及び備品の使用に際しては、利用方法に沿って記載事項を遵守してください。

なお、スポーツ支援室は北方圏生涯スポーツ研究所（スポル）1Fにあります。

主な体育施設

●屋内：イ 浅井記念館

- 1F：第1体育館・第1トレーニング室・研修教室・特別室・トレーニングデッキ
- 2F：ギャラリー・第1多目的室・アスレティックトレーナー演習室・ランニングコース
- 3F：第2多目的室

ロ 第2体育館

ハ 北方圏生涯スポーツ研究所（スポル）

- 1F：多目的ホール、プール、ジャグジー、クライミングウォール、第2トレーニング室、高温トレーニングルーム、人工気象室、第1測定室、第1分析室
- 2F：ダイビングピット、第3トレーニング室、第2測定室、第2分析室、健康相談室
- 3F：第3体育館、ジムナスホール

4F：映像分析室

5F：ランニングコース

●屋外：陸上競技場・野球場・テニスコート・多目的グラウンド・PALグラウンド

付属施設

・クラブハウス・スキーハウス・部室

体育施設の利用方法

- ・体育・スポーツ施設は、体育実技の授業、学校行事のほか、本学体育会所属クラブの定期的な活動における使用を優先しています。
- ・体育施設の使用は、許可が必要です。スポーツ支援室で確認し、利用申請を行います。
 - * 備品・用具等の使用も同様に手続きすること
- ・上記1及び2以外で、学生及び団体等が体育施設・備品等の使用を希望する場合は、許可が必要です。使用日の1週間以上前にスポーツ支援室事務室に相談し、了解が得られれば体育施設使用願を提出し、使用許可証の交付を受けてください。
 - * 一部、貸出及び開放を行っていない施設がある。
 - * 授業・行事・クラブ活動等の事情により、貸出及び開放日時を変更することがある。

施設利用上の注意

- ・目的に合ったシューズを用意すること。
- ・貴重品・私物は各自の責任で管理すること（貴重品ボックスを利用すること）。
- ・水分補給のための水・スポーツ飲料以外の飲料物等を持ち込まないこと。
- ・ゴミを放置しないこと。
- ・怪我や緊急の事態が生じたときには、速やかに担当教員又はスポーツ支援室を通じて保健センターに申し出ること。
なお、職員が不在のときは、「安全対策マニュアル」に従って対応すること。
- ・器物や備品を破損したり、故障が生じたときには、速やかにスポーツ支援室に届け出ること。
なお、故意または過失による破損の場合は、弁済を求めることがある。
- ・使用後は清掃し、用具や備品は元どおりに返却・整頓すること。
- ・各施設ごとの使用心得を遵守すること。

7. カレッジホールPAL

2階

<購買>

学内のコンビニとして、日常必需品の販売と店内に設置されているサービスセンターにおいて、学生生活に必要な各種サービスの提供をおこなっております。

営業時間

・月～金曜日 8：45～17：00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日（9月5日）・8月の最終月曜日
- ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

取扱商品・サービス

- ・パン・弁当・おにぎり・菓子・カップ麺・アイス・ジュース・お茶などの食料品。
- ・ノート・ファイル・ボールペンなどの文房具。
- ・本学オリジナルグッズの販売。
- ・切手、ハガキ。
- ・教科書・教材・テキスト、スポーツ用品などの紹介や宅配便の取次。
- ・卒業式用貸衣装の展示会。
- ・自動車学校の申込受付、アパート・マンション業者の紹介。
- ・学内設置の各種自動販売機による飲料水やフードの販売。
- ・FAX・ラミネート加工、レンタカー申込、スキーレンタル、オリジナルTシャツ作成等々。

<キャッシュコーナー（北洋銀行ATM）>

北洋銀行の現金自動預入支払機（ATM）により、北洋銀行の他、郵便局や各種金融機関のキャッシュカードによる現金の引き出しが可能です。

取扱時間

・月～金曜日 9：00～17：00

ただし、次の期日は閉鎖します。

- ・土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日（9月5日）・8月の最終月曜日
- ・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間
- ・その他臨時に必要な場合

<交流スペース “hug”>

学生がくつろげる場所としてソファ席とカウンター席を用意し、教職員から寄贈された図書を配置しています。また、公開ゼミやオープンオフィスアワーなど教職員との交流を図ることができます。

空き時間を利用して自由に来室し、教職員を見かけたら気軽に話しかけてみてください。

3階

<保健センター> 別掲

<同窓会室>

<和室“翔”>

4階

<メインカフェテリア“hashi”>

札幌の街を一望しながらランチを楽しめるスタイリッシュなメインカフェテリア。「おいしい食事」をテーマに、麺類やカレーライス、日替わり定食などメニューは豊富。食べたい料理や予算に合わせて一品料理も自由に選べます。

営業時間

・月～金曜日 11:00～14:00

ただし、次の期日は閉鎖します。

・土曜日・日曜日・国民の祝日・創立記念日（9月5日）・8月の最終月曜日

・夏季・冬季・春季休暇中の一定期間

・その他臨時に必要な場合

5階

<カフェ“Central CAFE”>

モダンなカフェスタイルのレストスペースです。

昼休みのお食事、授業の合間の休憩、修学にご利用できます。

大テーブルはミーティングやグループワークにも最適です。

<学生ラウンジ>

優しく日の光が差し込む室内にはテーブルやチェアが設置され、落ち着いた雰囲気となっています。

利用時間

・月～土曜日 9:00～21:00

6階

<オーディトリウム（多目的ホール）>

8. 臨床心理学研究科 臨床心理センター

本センターは、大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻における臨床心理学に関する教育研究を効果的に行うことを目的として設置されています。すなわち、大学院における臨床心理学の実習や研究を行うことを主たる目的として、こころの問題を抱える外来の来談者に対する心理相談や心理査定などを有料で行う施設です。

本センターは、臨床心理士ならびに公認心理師養成のための機関ですので、相談対応は臨床心理士等の資格を持つ教員の指導・監督の下、臨床心理学専攻の大学院生および大学院を修了した研修員が中心となって行いますが、教員が相談を担当する場合があります。センターの管理運営は、大学院臨床心理学研究科臨床心理学専攻所属の教員等によって構成される、臨床心理センター運営委員会によって行われています。

設備には、相談室3室、遊戯療法のためのプレイルーム大小2室、待合室2室、相談員室1室などがあります。また、各種心理検査や箱庭療法用具など、様々な来談者に対応できるように整備されています。

相談内容に関する秘密は固く守られますが、相談内容によってはより適切と思われる機関を紹介することがあります。

本センターは原則として学外の方のための相談施設です。学生のみなさんは無料で相談を受けられる、本学学生相談室を利用することができます。

9. 北方圏学術情報センター／北翔大学札幌円山キャンパス

北方圏学術情報センターは、平成13年度文部科学省の学術フロンティア推進事業として選定され、平成14年5月に竣工した札幌円山キャンパス（札幌市中央区南1条西22丁目）にあります。最寄り駅は地下鉄東西線の「円山公園駅」または「西18丁目駅」でどちらからも徒歩で6～7分という交通の便の良い場所に位置しています。当センターは、北方圏住民の生活の質（Quality of Life）の向上に関する総合的研究を目的として、福祉領域、健康、衣食住生活、ファッション、美術・音楽・舞台芸術などの分野における人々の全生涯、全生活領域における豊かさの向上を目指し、本学の多くの教員スタッフが学外研究者をも交えた研究プロジェクトチームを編成して様々な研究活動を展開し、市民講座等で広くその成果を公表し、地域住民の皆様にも還元してきています。

北翔大学札幌円山キャンパスは、本センターの研究活動の推進並びにその成果の公表が中心となる研究施設ですが、学生の皆さんも、企画の内容が本センターの目的に合致し研究スタッフである教員の指導助言を受けることで、研究活動の一環として使用することができます。本施設は、地上8階、地下1階、総面積8,700㎡の建物で、その1階から5階までと6階の半分が北方圏学術情報センターとなっています。6階の半分と7階、8階は札幌ファッションデザイン専門学校DOREMEが教育実践の場として使用しています。また、多目的ホールやギャラリー、ユニバーサルデザイン住宅のモデルルーム、アトリウムや研究室等があります。

1階にある多目的ホールは可動式客席により377名の収容が可能なホールで、映像・音響・照明等の設備を備えており、各種のシンポジウムや講演会、コンサート等に利用されています。1階と3階に設けられているギャラリーは美術分野やファッション関係の展示等に利用され、研究や教育成果の発表も多く行われ、地域社会の方々にも広く公開されています。また、4階にあるユニバーサルデザイン住宅のモデルルームは北国の高齢者・障がい者の住環境を考えるための一つの素材を提供してい

ます。1階のアトリウムや3階のラウンジは広く開放しています。学生の皆さんは交流の場としてこれらの自由空間を利用することもできます。美術展や各種成果の発表会などの鑑賞、館内見学も可能です。多くの皆さんの来館を歓迎します。団体等で見学される場合はセンターの研究活動や成果の発表等のイベントとの関係もありますので、あらかじめセンター事務室にお問い合わせください。

北方圏学術情報センター事務室（北翔大学札幌円山キャンパス内）

TEL (011) 618-7711

10. 北方圏生涯スポーツ研究所／スポーツ科学センター

研究所が所在する建物の正式名称は北方圏生涯スポーツ研究所ですが、通称を「スポル」といい、ギリシア語でスポーツを意味します。この施設は、平成16年度文部科学省の学術フロンティア推進事業の選定に基づき、北方圏における総合型地域スポーツクラブ、寒冷地スポーツ推進、競技者育成、体力向上、体験活動、食育推進について総合的・学際的研究を行い、生涯スポーツ文化の創造に貢献することを目的として平成17年3月に竣工した建物です。北海道全域に生涯スポーツを振興するための拠点として本学および学外の研究者が研究活動を進めています。

スポーツ科学センター

スポーツ科学センターは、大学の体育・スポーツに関する事業全般を一元管理する組織として令和3年4月に設置されました。学生の体育実技の教務補助に関することや体育・スポーツ施設の管理に関すること等は勿論、北方圏生涯スポーツ研究所の事業も統括します。スポーツ科学センターの事務を司るスポーツ支援室が学生の皆さんにとっての窓口となります。